

卒業 50 周年を記念して図書券を寄付

上志佐中学校（昭和 31 年に志佐中学校と統合）を卒業してから 50 周年の記念として、昭和 28 年度上志佐小学校卒業生有志一同から上志佐小学校に図書券が贈られました。

2 月に広島で開催された同窓会の参加者で、母校のために何かできないかと企画したものです。

2 月 23 日、卒業生 5 人が同校を訪れ、代表の村田寛典さん（志佐・笛吹）から、同校 6 年の百枝洋平君と牧地香奈子さんに図書券が手渡されました。2 人は「ありがとうございます。本が好きなので、これからたくさん本を読みます」とお礼を述べました。



中学生車いすを寄贈

市内の 5 校（志佐・御厨・調川・今福・青島）の中学生が 3 月 7 日、星鹿町の介護老人保健施設よかところに車いす 2 台を寄贈しました。

毎年、家庭から出るアルミ缶を生徒が協力して回収し、それらの収益金で車いすを購入し寄贈しています。今年は、5 校で 1,880 本のアルミ缶を回収しました。

この日は、各中学校の代表者が自分たちの取り組みを発表し、金子育未君（今福中）と石橋まいさん（志佐中）から車いすが渡されました。

生徒は自分たちの取り組みについて、「自分たちが集めたアルミ缶が、車いすになる事をうれしく思います。大切に使うことが、自分たちのボランティア活動の励みになります」と話していました。



ピアノとサクスの音色に触れる

ピアノ奏者の白石光隆さんとサクソフォン奏者の田中靖人さんが 2 月 16、17 日、調川中や今福中などで演奏会を行いました。

18 日に文化会館で開催される「TALKING&CLASSIC」に出演する 2 人が、4 カ所で行ったものです。

17 日の今福中（写真）では、ピアノとサクソフォンについての話をおりませながら 5 曲が披露され、参加した 2 年生 37 人は、美しい音色に触れました。

大友志穂さんは「ピアノの力強い音ややわらかい音に感動しました」と話してくれました。

また、18 日の文化会館での公演では松浦ウィンドオーケストラが共演しました。



サッカーで交流

第 5 回松浦 FC フェスティバル（松浦ジュニアユースフットボールクラブ主催）が 3 月 5 日、今福小学校グラウンドで開催されました。

サッカーを楽しみながら交流を深め、基礎を身につけることを目的に毎年開催されています。

この日は市内外から小学生で構成された 6 チームが参加し、熱戦を繰り広げました。また、国見高校サッカー部で活躍した江島直毅さん（18 歳、今福町出身）も応援に駆けつけ「サッカーを楽しむことが一番の上達法」と選手に声援を送っていました。

上位の結果は次のとおりです。

優勝 志佐 FC

準優勝 松浦 IT（A チーム）

3 位 歌浦サッカークラブ、松浦 IT（B チーム）



※アウトリーチ

芸術に接する機会や関心がない人々に対し、芸術への興味と関心をもたせるために芸術家・企画者側から働きかけるさまざまな活動。

火災予防運動(3/1～7)にちなんだ行事開催

2/24 少年消防クラブのポスター選考(松浦地区消防署)

管内の11少年消防クラブから作品を募集し、10クラブ34点の応募がありました。その中から、深月少年消防クラブ(平戸市)の作品が最優秀賞に選ばれ、市役所ロビーに展示されました(写真左)。

消防クラブのポスター選考の結果は次のとおりです(市内のみ)。

【優秀賞】中通少年消防クラブ、青島少年消防クラブ、志佐ジュニア消防クラブ、上志佐ジュニア消防クラブ

2/28・3/1 防火パレード(市内全域)

消防団員が、保育園や幼稚園などを訪れ、風船を配りながら、火災予防を呼びかけてまわりました(写真右、志佐保育所)。



ひと足早い春の香りのプレゼント

2月16日、(株)九州電力平戸営業所からスズラン18鉢が寄贈されました。

電気のPRのために同社の自然資源研究センターの電熱温床で栽培されたもので、毎年、官公署や学校・福祉施設などへ寄贈されています。

この日は、川久保梅之^{うめのみさ}所長が「皆さんにひと足早い春の香りを楽しんでいただきたいです」と友広郁洋市長に手渡し、市役所の各窓口でかわいらしい花を咲かせています。

また、17日には同電力伊万里営業所から3鉢のスズランが寄贈されました。



フィジーから鷹島支所へお礼の手紙

南太平洋・フィジー諸島共和国の子どもたちから、鷹島支所へ手紙が届きました。

昨年12月に、青年海外協力隊員としてフィジー諸島で活動している鷹島町出身の宮本奈穂^{なほ}さんから、「現地の学校で不足している学用品を支援したい」と旧鷹島町役場に協力依頼がありました。宮本さんは、「発展途上で支援を求めている人とともに暮らし、自分にできる精一杯の手助けをしたい」と、昨年7月からフィジー諸島のサブサブという町の養護学校で活動しています。

宮本さん(後列左から2番目)と看護学校の先生



旧鷹島町役場の職員らに呼びかけたところ、今後必要としないものや、個人の持ち物で使わなくなった鉛筆など数百点の学用品が集まり、宮本さんを通じてフィジー諸島の養護学校へ送られました。

現地の学校では、日本では当たり前のように使っている文房具も、フィジーでは持っていない子どもがほとんど。手紙には、「たくさんの文房具を送ってもらってありがとうございました」などと書いてあり、思い思いの絵が描かれていました。

呼びかけを行った職員は、「感謝の手紙が届いたことで、あらためてものを大切にする気持ちを忘れていた自分に気づかされました。使わずに忘れていたもの、見落としていた品物が、このようなかたちで喜んでもらえてよかったです」と話していました。

届いた手紙は、鷹島支所に掲示しています。



松浦地区消防署が優勝

—第1回松浦市民駅伝大会—

第1回松浦市民駅伝大会が2月26日、市民運動公園前をスタートし、市役所前をゴールとする8区間、24.2^キのコースで行われました。

今大会には、一般の部に28チーム中学の部に6チームが参加。選手は、沿道からの声援を受けながら、健脚を競いました。新松浦市となり1回目の今大会は、松浦地区消防署が優勝しました。

結果は次のとおりです（敬称略）。

〔一般の部〕

〔総合成績〕

- ①松浦地区消防署 1時間24分54秒
- ②ふくしまつばき 1時間25分44秒
- ③よせあつめ 1時間27分12秒
- ④クロネコ ⑤中興化成工業 ⑥小船クラブ ⑦鷹島走ろう会 ⑧アリガトウ ⑨J・P O W E R ⑩今福小学校 P T A ⑪ J A な が さ き 西 海 ⑫ミトコンドリア ⑬福島陸友会 ⑭松浦衛生事業協同組合 ⑮九電松浦発電所 ⑯先生 ⑰九電産業 ⑱陸援隊 ⑲どんぐり ⑳北久 ㉑松浦幼稚園 ㉒菊地病院 ㉓今福中 P T A ㉔チーム J P さく ㉕志佐小 P T

A 走らんば ㉖郵便局 R C ㉗市役所 野球部 ㉘市役所青年部

〔区間賞〕

- ▽1区（3・9^キ） 福井雄一（ふくしまつばき） 12分53秒
- ▽2区（4・8^キ） 山本大輔（クロネコ） 14分41秒
- ▽3区（1・9^キ） 小田 徹（松浦地区消防署） 6分14秒
- ▽4区（2・4^キ） 福永勝仁（松浦地区消防署） 7分46秒
- ▽5区（2・7^キ） 濱村成紀（松浦地区消防署、大原辰蔵（小船クラブ）） 9分57秒
- ▽6区（2・0^キ） 池田秀雄（先生） 6分34秒
- ▽7区（3・3^キ） 松瀬 携（鷹島走ろう会） 11分1秒
- ▽8区（3・2^キ） 尾下竜博（九電産業） 10分42秒

〔中学の部〕

〔総合成績〕

- ①今福中学校 1時間24分18秒
- ②志佐中駅伝部 1時間26分21秒
- ③御厨中学校 A 1時間26分47秒
- ④調川中学校 ⑤御厨中学校 B ⑥今福中野球部

〔区間賞〕（一般の部と同^キ数）

- ▽1区 山田千鉄（志佐中駅伝部） 13分4秒
- ▽2区 川原光泰（今福中） 16分47秒
- ▽3区 山崎徹也（御厨中学校 A） 6分17秒
- ▽4区 川原忠貞（今福中） 8分13秒
- ▽5区 宮本 徹（志佐中駅伝部） 9分38秒
- ▽6区 寺澤慶太（今福中） 6分25秒
- ▽7区 澤田 錬（志佐中駅伝部） 10分56秒
- ▽8区 佐伯拓馬（今福中） 10分40秒

スポーツ安全保険に加入しませんか

- ◆対象者 スポーツ活動、文化活動、ボランティア活動などを行う5人以上の団体・グループ
- ◆掛金および保険金額 下記のとおり
- ◆問合せ先 教育委員会生涯学習課

平成18年度スポーツ安全保険の掛金・補償内容一覧

団体	対 象	区分	新掛金	障害保険				賠償責任保険 (補償限度額)	共済 見舞金
				死 亡	後遺障害 (最高)	入 院	通院 (日額)		
子どもの団体	中学生以下の子ども スポーツ活動を行わない大人 (スポーツの指導、審判を除く)	A	500円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	大人の団体と同補償	突然死
	中学生以下の子ども (下段は、個人活動中の事故の 場合の補償額)	A W	1,050円	2,100万円	3,150万円	5,000円	2,000円	大人の団体の補償に身体、 財物賠償合算で1事故 500万円を加算	160万円
				100万円	150万円	1,000円	500円	身体、財物賠償合算で1事故 500万円 (免責1,000円)	対象外
子どものスポーツ団体の指導者 等 (Cにも加入可)	A C	1,000円	1,000万円	1,500万円	2,500円	1,000円	大人の団体と同補償	突然死 160万円	
大人の団体	文化活動、ボランティア活動および 地域活動 (スポーツの指導、審 判およびダンス踊り等を除く)	A	500円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体賠償 1人 1億円 1事故 5億円	突然死 160万円
	老人クラブ	B	800円	600万円	900万円	1,800円	1,000円		
	スポーツ活動 (野外活動、身体運動を含む)	C	1,500円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	財物賠償 1事故 500万円 (免責1,000円)	
	危険度の高いスポーツ活動	D	9,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円		